

「千葉市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の進捗状況について

（1）目標値の達成状況

本計画では、令和14年度を目標年次として達成すべき7つの具体的な数値目標を掲げています。

令和6年度は、7つの数値目標のうち、総排出量・家庭系ごみ排出量・事業系ごみ排出量・焼却処理量・再生利用率は目標値を達成しましたが、最終処分量・温室効果ガス排出量は目標値を達成しませんでした。

表1：目標値と実績値の比較

	令和6年度			令和14年度 (目標年度)
	目標値	実績値	達成状況	
総排出量 ¹ 【1人1日あたり(g)】	932g (332,092t)	926g (332,613 t)	○	850g (298,000 t)
家庭系ごみ排出量 【1人1日あたり(g)】	468g (166,711 t)	451g (162,088 t)	○	394g (138,000 t)
事業系ごみ排出量 【総量(t)】	68,823 t	67,306 t	○	62,000 t
焼却処理量 【総量(t)】	230,074 t	224,909 t	○	196,000 t
再生利用率 ² 【総排出量中に占める割合(%)】	33.0%	34.3%	○	38%
最終処分量 ³ 【総量(t)】	15,118 t	17,469 t	×	8,600 t
温室効果ガス排出量 【総量(t)】	106,682 t	109,517 t	×	71,000 t

¹ 総排出量：以下の①、②、③の合計÷人口÷365日（閏年は366日）×1,000,000で算出

①家庭系ごみ（可燃ごみ、不燃ごみ、有害ごみ、資源物（びん、缶、ペットボトル、古紙、布類、剪定枝等）、粗大ごみ）

②事業系ごみ（可燃ごみ、不燃ごみ、事業系資源物（びん、缶、金属等、古紙・布類、厨芥類など）

③集団回収、古紙回収庫、使用済小型家電拠点回収、廃食油資源回収、その他の拠点回収

² 再生利用率：ごみの総排出量に対する再生利用量の割合（再生利用率=再生利用量／総排出量×100）

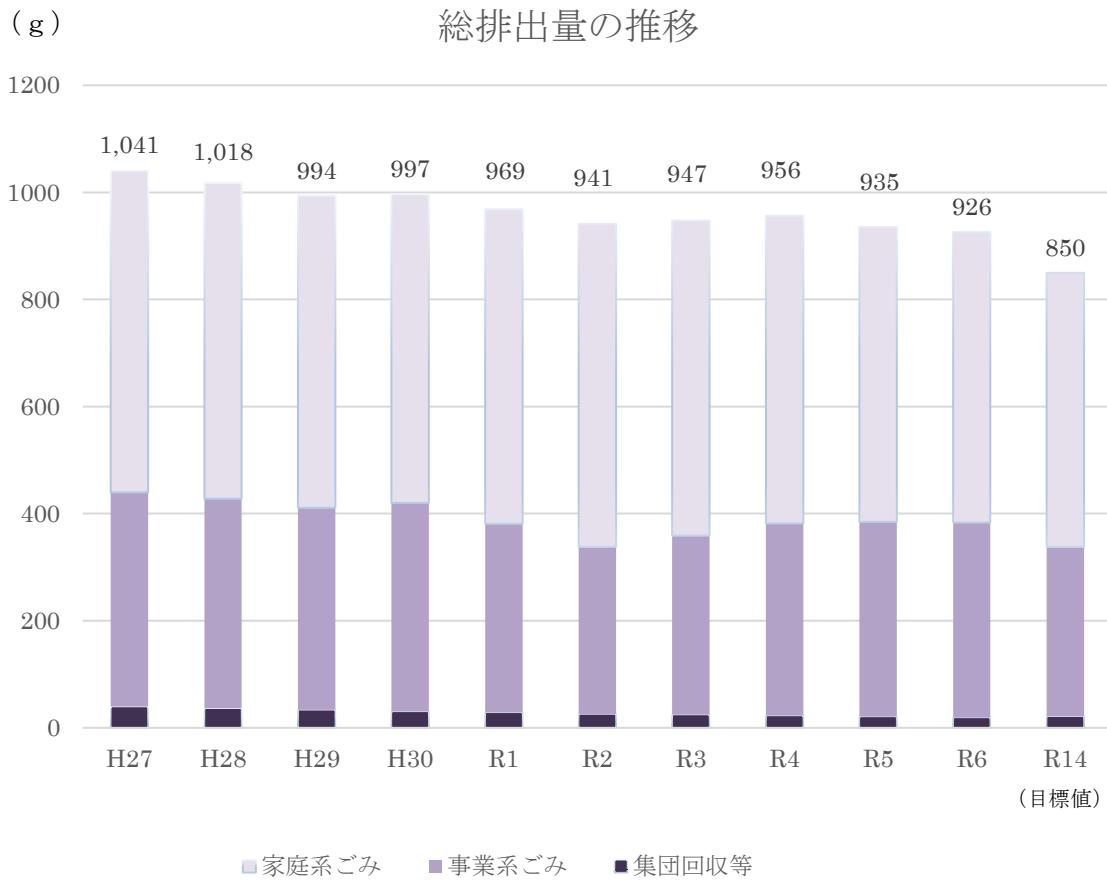
※再生利用量：家庭系資源物、集団回収、古紙回収庫、その他の拠点回収、事業系資源物、不燃ごみ・粗大ごみの破碎後資源化量、有害ごみ・焼却灰等再資源化量の合計

³ 最終処分量：埋立焼却灰量と直接埋立量（破碎残さ量を含む）の合計

ア 総排出量

令和6年度の総排出量は1人1日あたり 926g となり、目標値と比べて 6g(0.6%)少なく、目標値を達成しました。

R6 目標値 : 932g



«目標値と実績値» ※内訳と主な要因の番号は対応しています

【内訳】

- ① 家庭系ごみ 目標 : 468g → 実績 : 451g (▲17g)
- ② 事業系ごみ 目標 : 193g → 実績 : 187g (▲6g)
- ③ 家庭系資源物 目標 : 121g → 実績 : 110g (▲11g)
- ④ 事業系資源物 目標 : 150g → 実績 : 177g (+27g)

【主な要因】

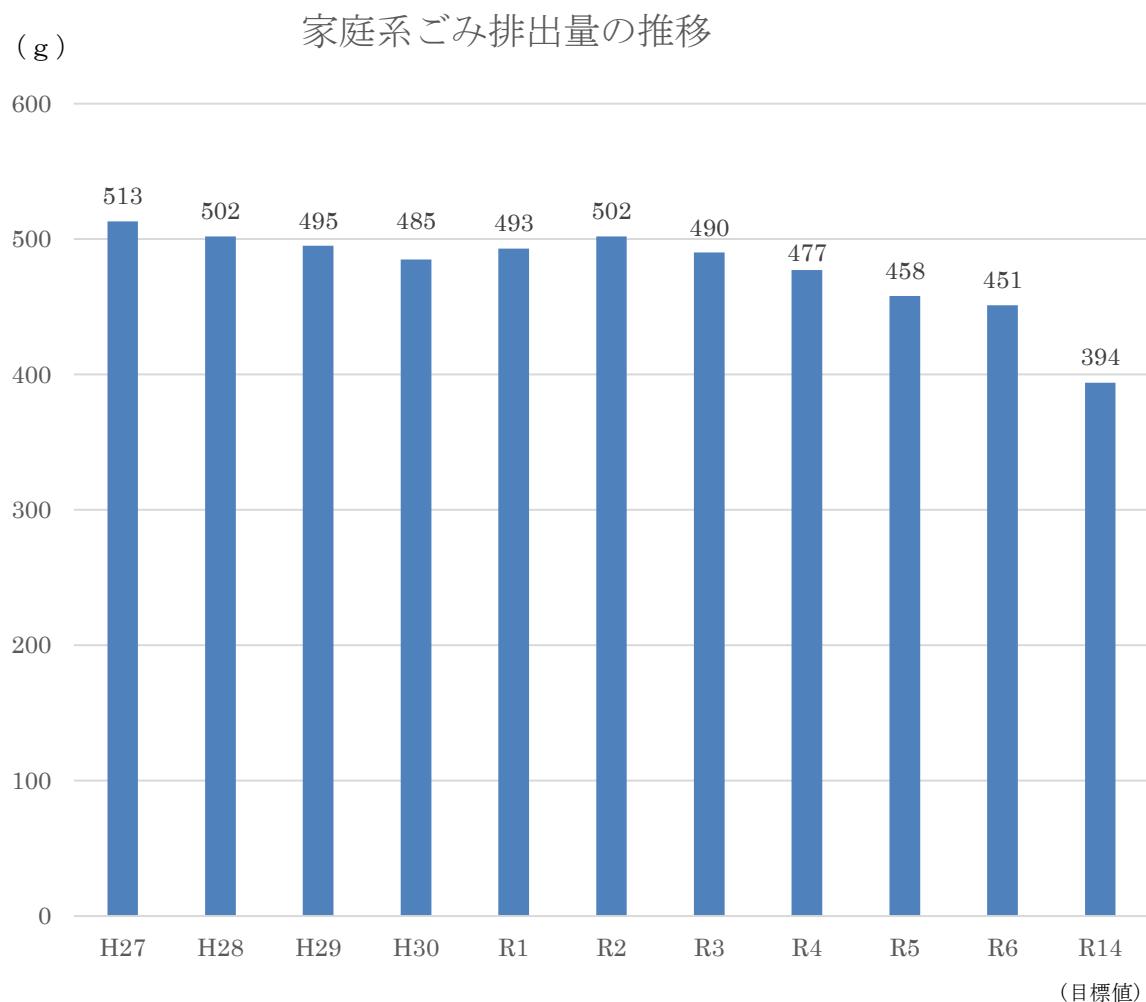
- ①家庭系可燃ごみ収集量の減少 目標 : 426g → 実績 : 414g(▲12g)
- ②事業系可燃ごみ収集量の減少 目標 : 193g → 実績 : 187g(▲6g)
- ③家庭系資源物（古紙）の減少 目標 : 64g → 実績 : 57g(▲7g)
- ④事業系資源物（木くず）収集量の増加 目標 : 73g → 実績 : 106g(+33g)
- ⑤事業系資源物（古紙）収集量の減少 目標 : 62g → 実績 : 56g(▲6g)

4ページでは事業系ごみ排出量を「総量[t]」で評価していますが、家庭系ごみ排出量と比較しやすいよう「1人1日あたりのごみ排出量[g]」で表記しています。

イ 家庭系ごみ排出量

令和6年度の家庭系ごみ排出量は1人1日あたり 451g となり、目標値と比べて 17g(3.6%)少なく、目標値を達成しました。

R6 目標値：468g



《目標値と実績値》

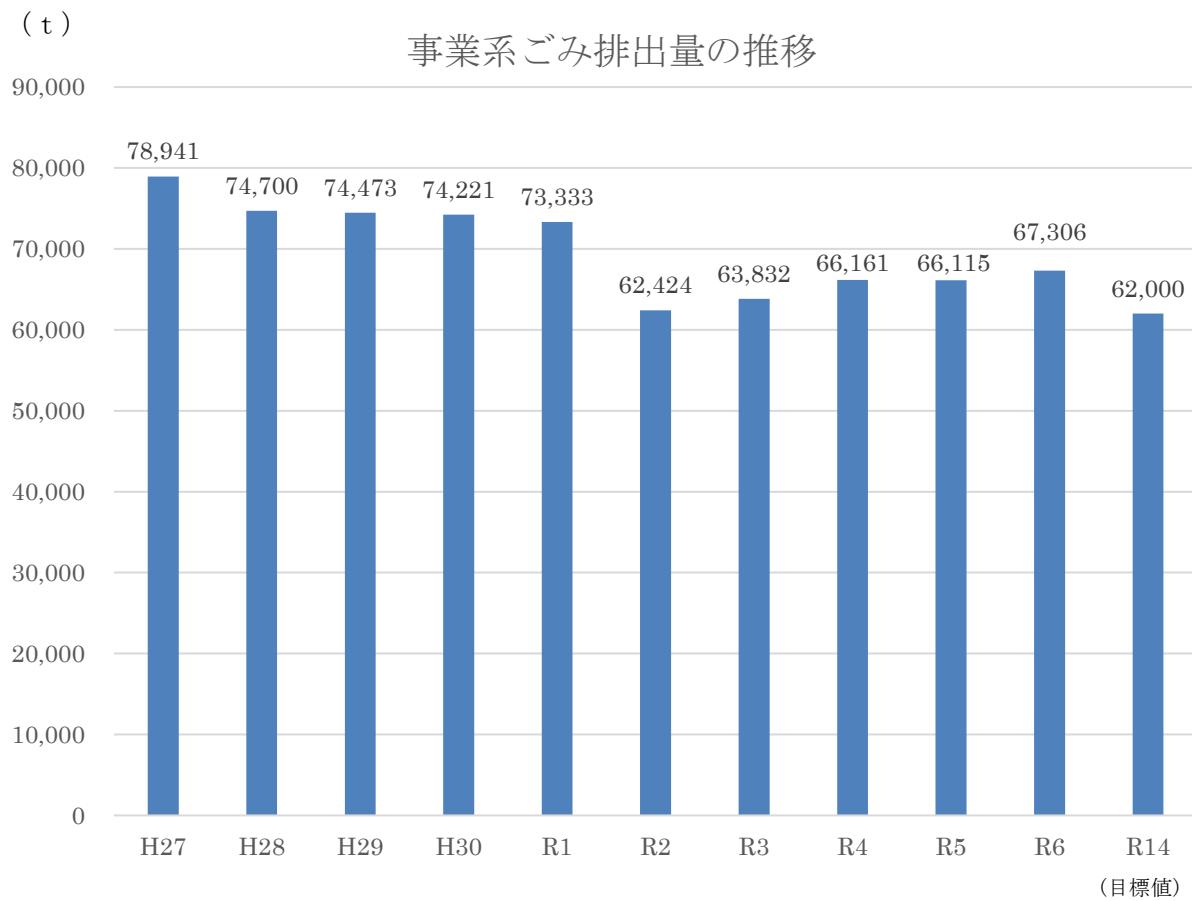
【主な要因】

- ① 家庭系可燃ごみ収集量の減少
目標：426g→実績：414g(▲12g)
- ② 家庭系不燃ごみ収集量の減少
目標： 25g→実績： 22g(▲ 3g)

ウ 事業系ごみ排出量

令和6年度の事業系ごみ排出量は 67,306t となり、目標値と比べて 1,517t(2.2%) 少なく、目標値を達成しました。

R6 目標値 : 68,823t



《目標値と実績値》

【主な要因】

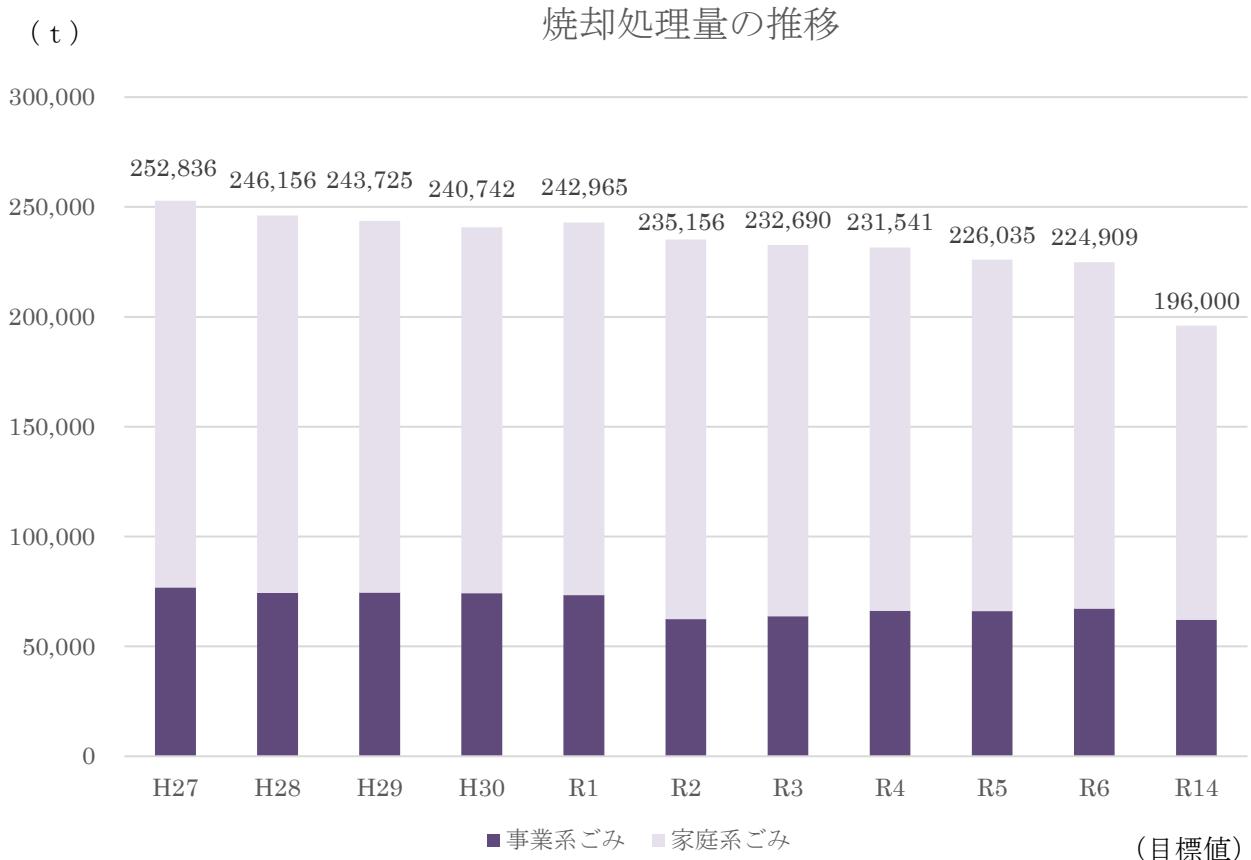
- ① 事業系可燃ごみ収集量の減少
目標 : 68,798t → 実績 : 67,297t(▲1,501t)

エ 焼却処理量

令和6年度の焼却処理量は224,909tとなり、目標値と比べて5,165t(2.2%)少なく、目標値を達成しました。

このうち、家庭から排出される焼却ごみの量は157,612tに、事業所から排出される焼却ごみの量は67,297tとなりました。

R6 目標値：230,074t



《目標値と実績値》 ※内訳と主な要因の番号は対応しています

【内訳】

- ① 家庭から排出される焼却ごみ量
目標：161,276t→実績：157,612t(▲3,664t)
- ② 事業所から排出される焼却ごみ量
目標： 68,798t→実績： 67,297t(▲1,501t)

【主な要因】

- ① 家庭系可燃ごみ収集量の減少
目標：151,979t→実績：148,916t(▲3,063t)
- ② 事業系可燃ごみ収集量の減少
目標： 68,798t→実績： 67,297t(▲1,501t)

オ 再生利用率

令和6年度に家庭から出された資源物の再資源化量は、39,386tとなりました。

また、事業所から出された資源物の再資源化量は、63,548tとなりました。

これらに焼却灰の再資源化等を含めた最終的な再生利用量は114,149tで、このことから再生利用率は34.3%となり、目標値と比べて1.3ポイント上昇し、目標値を達成しました。

R6 目標値：33%



《目標値と実績値》 ※内訳と主な要因の番号は対応しています

【内訳】

- ① 家庭系資源物再資源化量 目標：45,178t→実績：39,386t(▲5,792t)
- ② 事業系資源物再資源化量 目標：53,277t→実績：63,548t(+10,271t)
- ③ 焼却灰の再資源化量等 目標：11,713t→実績：11,215t(▲498t)

【主な要因】

- ① 家庭系資源物（古紙）の減少
目標：22,760t→実績：20,395t(▲2,365t)
- ② 事業系資源物（木くず）の増加
目標：25,939t→実績：37,951t(+12,012t)
- ③ 事業系資源物（古紙）の減少
目標：22,066t→実績：20,247t(▲1,819t)

力 最終処分量

令和6年度の最終処分量は17,469tとなり、目標値と比べて2,351t(15.6%)多く、目標値を達成しませんでした。

R6 目標値：15,118t



※目標値と実績値】 ※内訳と主な要因の番号は対応しています

【内訳】

- ① 焼却灰等埋め立て量
目標：14,635t→実績：17,196t(+2,561t)
- ② 直接埋め立て量
目標： 483t→実績： 273t(▲ 210t)

【主な要因】

- ① 不燃残渣埋立量の増加
目標： 0t→実績： 1,422t(+1,422t)
- ② 焼却灰埋立量の増加
目標： 8,389t→実績： 9,224t(+835t)

キ 温室効果ガス排出量

令和6年度の温室効果ガス排出量は焼却ごみの組成変化等により 109,517t(※)となり、目標値と比べて 2,835t(2.7%)多く、目標値を達成しませんでした。

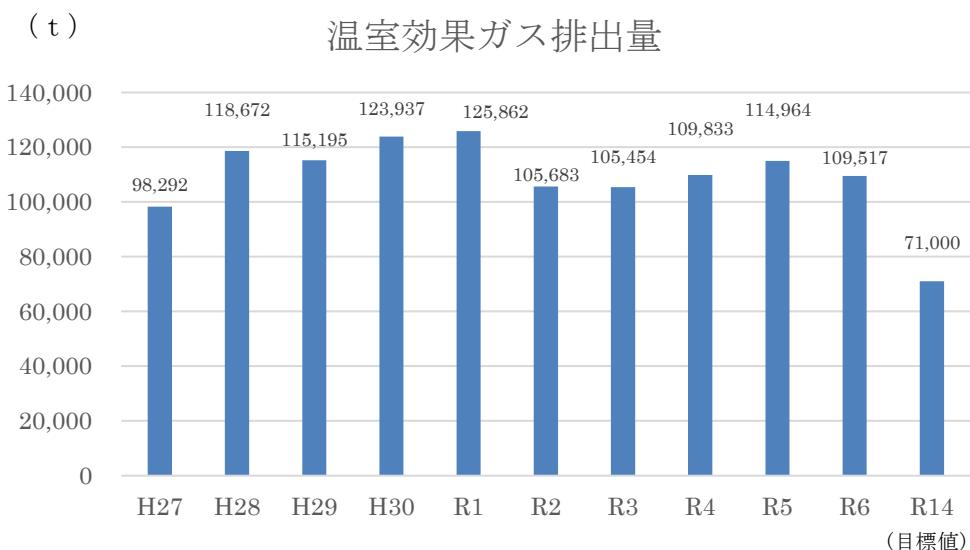
※数値は速報値（令和7年10月時点）のため、変更する場合があります。

表2：温室効果ガス排出量の内訳 (単位:t)

	清掃工場稼働 に伴う発生量 (A)	廃棄物の焼却 に伴う発生量 (B)	売電、熱供給に 伴う間接削減量 (C)	合計 (A+B-C)
目標	—	—	—	106,682
実績	1,501	124,465	16,449	109,517
実績－目標	—	—	—	2,835

目標値は、全体の排出量のみ計上しています。

R6 目標値：106,682t



《目標値と実績値》

【主な要因】

- ① 焼却ごみ中のプラスチック類の割合の上昇

目標：北清掃工場 30.7%→実績：35.5%

目標：新港清掃工場 26.0%→実績：28.6%